



# 地域懇談会における市の回答報告

総代会会長 若月 哲夫

去る八月八日、市長との地域懇談会が開催されたことは九月号の山なみでお知らせしました。

今回は、市からいただいた回答の中から、小学校の統合建設と広田農村公園の維持管理についてご報告します。

■小学校統合建設について  
平成十五年以降、北小学校の複式授業の早期解消を要望してきた。結果、平成二十一年四月から北小学校の児童が南小学校に行き合同授業を行い、二十二年四月には正式統合する。新校舎は二十三年度から二十七年間で建設完了予定。  
なお、南小学校体育館の耐震強度については診断の結果、大きな地震が来ると

危険の数値が出ているが、統合新設を控えているため最小補強での了解を保護者からいただいた。

中学校との併設（小中一貫校も含め）について教育委員会は、今後具体的な図面を示した上で協議願いたい。

通学手段について、スクールバスの運行は学校から3km以上と定めている。路線バス運賃の助成は通学距離が3km以上であれば定期運賃の実費を助成している。

■広田農村公園維持管理について  
維持管理は今年四月から地元にお願したものである。農村公園は市内にも数ヶ所あるが、いずれも地元で管理している。まだ始ま

北条地区  
コミュニティ協議会  
振興協議会  
TEL25-3355

ほったまりん

つて五ヶ月、実績を見たなかで地元でどうしても負担に耐えられなくなった時点で判断したい。資材支給については、今までどおり農林水産課で継続する。園内の枯れた樹木については時期のよい今秋に植替えを行う。

広田駅から公園まで上がる道路の市道化については、一部不在地主との間で未登記の部分がある。市道認定はこれが完了しないとできないので、それまでは農林水産課で管理する。

総代会では今年度に限りという条件で全世帯から五百円を負担していただきました。しかし、このたびの市の厳しい回答で来年度以降も地域の皆さまにお願いしなければならぬ状況になりました。何卒ご理解とご協力いただきますようお願い申し上げます。

## 「暖」新装開店の案内

平成十六年十月二十三日午後五時五十六分ころ、中越大地震が発生した。この日は第二十八回コミュニティ祭りの前日。創作広場の作品はきれいに飾りつけられ、ふれあい食堂と化する調理室からはうどんのつゆの香りが漂っていた。体育館では芸能広場のリハーサルの真最中で、約五十人の老若男女が順番を待っていた。

コミュニティセンターは即、避難所となり、当然コミュニティ祭りは中止となった。翌十七年度はコミュニティ創立三十周年。この式典と合わせてささやかにコミュニティ祭りを開催したが、十八年度は防災訓練で中止、十九年度は中越沖地震により中止。それでも今年度は久々の開催となるかと検討したが、予定日には選挙が入り、延期すると「暖」の新装開店日に近いという理由から両者を一緒にして開催することに決定。別途チラシで出演・出品を募集中！（事務局）

「暖」は、地域内に暮らす高齢者や調理困難な人たちが食事を心配しないで暮らせるための支援が目的で開設しました。  
しかし、現状の狭い施設では対応不可能なため、震災復興基金を活用させていただき、全面改装することになり、工事が九月八日から始まりました。  
つきましては、別途チラシで総菜パックの宅配希望調査をしております。このたびの調査は一次調査となります。再度、正式な申し込みをいただくようになりまますのでよろしくお願ひ申し上げます。（事務局）

**第29回コミュニティ祭り**  
— 「暖」新装開店 —

とき：11月9日（日）  
会場：「暖」・コミュニティセンター  
全館と前の広場  
午前：暖暖オープンイベント  
ふるさと広場・創作広場  
午後：芸能広場

詳細につきましては、後日配布のプログラムをご覧ください。